証券コード 8035

第57期
中間報告書

2019年4月 1 日から
2019年9月30日まで

東京エレクトロン株式会社

株主の皆さまへ

代表取締役社長・CEO
河合　利樹

目次

株主の皆さまへ …… 1
事業の概況 …… 2
主要な事業内容及びセグメント別の概況 …… 3
特集① 2020年3月期　中間期トピックス …… 5
特集② 当社グループ事業拠点のご紹介
東京エレクトロン九州㈱ …… 7
連結財務諸表 …… 9
株式の状況 …… 11
会社の概況等 …… 12
株主メモ …… 13

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

第57期中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）報告書として、事業の概況等をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

第57期中間期の連結業績は、売上高、利益ともに当初の業績予想を上回る結果を達成することができました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜物と感謝しております。

次世代通信規格（5G）に加え、IoTや人工知能（AI）等の普及により加速するデータ社会において、これらを実現するための半導体やFPDの重要性はますます高まっております。当社は世の中になくてはならない会社として、『革新的な技術力と、多様なテクノロジーを融合する独創的な提案力で、半導体とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー』というビジョンのもと、持続的な企業価値の向上を通して夢のある社会の発展にいっそう貢献してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、さらなるご支援を賜りたく、よろしくお願い申しあげます。

2019年11月

事業の概況

当中間期の世界経済につきましては、総じて緩やかな拡大を続けておりますが、中国経済の先行きや英国のEU離脱の行方など不透明感が残っております。

当社グループの参画するエレクトロニクス産業におきましては、データセンター向け設備投資やスマートフォン需要は一時的な調整局面にあるものの、将来に向けては、次世代通信規格（5G）に加え、IoTや人工知能（AI）等の需要増を背景にしたメモリ向け設備投資の再拡大が期待できるなど、半導体製造装置市場は今後徐々に回復し、成長基調に転じると見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループの当中間期の連結業績は、売上高5,084億4千2百万円（前年同期比26.4%減）、営業利益1,024億5千4百万円（前年同期比41.6%減）、経常利益1,066億9千2百万円（前年同期比41.1%減）、また、親会社株主に帰属する当期純利益は787億2千2百万円（前年同期比41.8%減）となりました。

連結業績推移

主要な事業内容及びセグメント別の概況

当社グループは、エレクトロニクス技術を利用した半導体製造装置及びFPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置の開発・製造・販売・保守サービスを事業の中心としております。

半導体製造装置

■事業の状況

ロジック／ファウンドリ系半導体に対する設備投資は堅調に推移しました。DRAM、3次元構造のNANDフラッシュメモリにおいては一時的な調整局面にあるものの、需給バランスの改善により、今後は回復基調へ向かうものと見込んでおります。このような状況のもと、当セグメントの当中間期の外部顧客に対する売上高は、4,700億4百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

■主要営業品目

- ●コータ／デベロッパ
- ●エッチング装置
- ●成膜装置
- ●洗浄装置
- ●ウェーハプローバ

コータ／デベロッパ
CLEAN TRACK™ LITHIUS Pro™ Z

プラズマエッチング装置
Tactras™

ALD*装置
NT333™

枚葉成膜装置
Triase+™

枚葉洗浄装置
CELLESTA™-*i*

ウェーハプローバ
Precio™ XL

＊ALD：Atomic Layer Deposition（原子層堆積）

FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置

■事業の状況

モバイル用中小型パネル向けに加え、テレビ用大型液晶パネル向けの設備投資についても調整局面にありますが、期後半からは回復基調に転じるものと見込んでおります。このような状況のもと、当セグメントの当中間期の外部顧客に対する売上高は、383億3千万円（前年同期比26.9%減）となりました。

■主要営業品目

- ●FPDエッチング／アッシング装置
- ●FPDコータ／デベロッパ

FPDプラズマエッチング／アッシング装置
Betelex™

その他

上記2セグメントに含まれない事業における当中間期の外部顧客に対する売上高は、1億8百万円となりました。

連結 セグメント別売上構成比（当中間期）

連結 地域別売上構成比（当中間期）

特集① 2020年3月期　中間期トピックス

中長期的な成長に向けた研究開発に注力

ますます多様化し複雑化する半導体とFPD製造プロセス及び装置技術において、当社は継続的に価値を創造するため、革新的な研究開発をおこなっています。

また、日本国内の主要開発拠点を中心に、お客さまの近くでスピード感をもってニーズに応えるため、欧米をはじめ、アジア各国などワールドワイドに研究開発拠点を展開してきました。

当社はメーカーとして強いネクストジェネレーションプロダクトを創出することが重要です。ベストプロダクト、ベストサービスを追求するため、当社は今後3年間で4,000億円の研究開発投資を見込んでおり、将来世代を見据えた先端技術開発によりさらなる成長を実現してまいります。

研究開発拠点

NEWS

当社は2019年7月、次世代プロセス、装置、デバイスの開発に向けて、米フロリダ州の非営利官民パートナーシップであるBRIDGと提携することを発表しました。
IoT、AI、自動車、その他の市場に向けた200mmプロセスの需要が急伸する中、300mm市場に向けて開発された最先端の装置やプロセス技術を200mm装置に転用することが求められています。BRIDGは200mmのR&Dインフラとプラットフォームを構築しており、当社はBRIDGとの提携を通じ、お客さまのために最先端の装置やプロセス、インテグレーション技術を開発してまいります。

新製品リリース

枚葉洗浄装置 CELLESTA™ Pro SPM

2019年5月に販売を開始した本装置は、従来装置の1.5倍の生産性向上を達成し、単位面積当たりの世界最大の生産性を実現しています。また、薬液コストを最大50%削減させるなど、最先端の微細化、環境負荷の課題に対する技術ソリューションを提供しています。

www.tel.co.jp/news/topics/2019/20190313_001.html

有機ELディスプレイ製造用 インクジェット描画装置 Elius™500 Pro

高解像有機ELディスプレイ向けに、新たにG2(370×470mm)基板に対応するため開発された装置です。本装置は、お客さまのディスプレイ開発用途としての運用を想定しており、有機ELディスプレイの技術開発の加速、将来の生産性改善に貢献してまいります。

www.tel.co.jp/news/topics/2019/20191017_001.html

外部からの評価

ESGへの取り組み

当社のESGへの取り組みは、中長期的な企業価値向上に資するものとして評価を受け、世界の代表的なCSR・ESG投資における株価指数の構成銘柄に選定されています。

Institutional Investor誌より「Most Honored Company」に選定

当社は、米国大手金融情報誌Institutional Investorが発表した2019 All-Japan Executive Teamの電機・精密機器セクターにおいて、優れたIR活動で高い評価を得た結果、4年連続で「Most Honored Company」に選定されました。

www.tel.co.jp/news/ir/2019/20190805_001.html

広報・ブランディング活動のご紹介

CM放映中

現在、「どこまで、世界を楽しくできる？」篇を『新・情報7daysニュースキャスター』で放映中です。

当社の装置からつくり出される半導体の絶え間ない進歩が、夢のような技術を実現させようとしています。ワクワクする夢のある社会をつくる会社、それが東京エレクトロンです。

今後新しいCMの電車内ビジョンでの放映も予定していますので、ぜひご注目ください。

東京エレクトロン公式Facebook

公式Facebookでは、当社グループの活動や取り組みを日々発信しています。決算情報、プレスリリースの他、メディア出演情報や社会貢献活動など、さまざまな情報をお届けしていますので、ぜひアクセスしてください。

ウェブサイトコンテンツ
「テレスコープマガジン」20号

日経CNBC
『朝エクスプレス』出演予告

公式Facebookは
2周年を迎えました！

アクセスは以下のURLから
www.facebook.com/TokyoElectron/

特集② 当社グループ事業拠点のご紹介ー東京エレクトロン九州㈱ー

当社主力装置の製造拠点である東京エレクトロン九州㈱をご紹介します。

東京エレクトロン九州㈱

会社概要

本 社 所 在 地：熊本県合志市福原1-1
代表取締役社長：林　伸一
主　要　事　業：コータ/デベロッパ、
サーフェスプレパレーションシステム、
FPDコータ/デベロッパの開発・製造
資　　本　　金：20億円
従　　業　　員：1,877名（2019年10月1日現在）

同社では、半導体製造工程のうち、圧倒的シェアを誇るレジスト塗布現像装置（コータ/デベロッパ）、半導体の進化に伴って市場拡大が見込まれる洗浄装置（サーフェスプレパレーションシステム）及びフラットパネルディスプレイ（FPD）製造工程のうち、FPDコータ/デベロッパの開発・製造を担っています。

また、半導体及びFPD製造装置で蓄積した技術を生かして、ウェーハボンディング/デボンディング装置や有機ELディスプレイ製造用インクジェット描画装置の開発に取り組んでいます。

コータ/デベロッパ

CLEAN TRACK™ LITHIUS Pro™ Z

洗浄装置

CELLESTA™-*i*

有機ELディスプレイ製造用インクジェット描画装置

Elius™

FPDコータ/デベロッパ

Exceliner™

よく分かる
東京エレクトロン九州㈱

88%*

主力製品の一つ、コータ/デベロッパの市場シェアは88%に上ります。EUVのインラインにおいては100%のシェアを維持するなど、圧倒的な製品力を誇っています。

＊出所：Gartner, "Market Share: Semiconductor Wafer Fab Equipment, Worldwide, 2018", Bob Johnson, Gaurav Gupta et al, 24 April 2019（コータ/デベロッパ＝Photoresist Processing(Track)）

6回目

"いま、「ありがとう」をつたえよう。" を合言葉に、東京エレクトロン九州の従業員一同が日頃の感謝の気持ちを込めて協力企業・地域の皆さま・従業員の家族をイベント「Thanks Day」でおもてなしをしています。

14,000本

CSR及び生物多様性保全活動の一環として、毎年熊本県内の山で植樹活動を実施しています。

過去14年に亘り従業員とその家族及び自治体の方々に参加いただき、通算14,000本の苗木を植樹しました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科目＼期別	第57期 中間期 (2019年9月30日現在)	第56期 (2019年3月31日現在)	増減
資産の部			
流動資産	**871,126**	**982,897**	**△111,770**
現金及び預金	214,401	177,634	
受取手形及び売掛金	111,849	146,971	
有価証券	125,500	215,000	
商品及び製品	255,119	234,102	
仕掛品	66,840	62,785	
原材料及び貯蔵品	54,419	57,331	
その他	43,067	89,156	
貸倒引当金	△71	△84	
固定資産	**296,451**	**274,730**	**21,720**
有形固定資産	**166,838**	**150,069**	**16,769**
無形固定資産	**9,343**	**9,054**	**288**
投資その他の資産	**120,269**	**115,607**	**4,662**
その他	121,680	117,033	
貸倒引当金	△1,411	△1,426	
資産合計	**1,167,578**	**1,257,627**	**△90,049**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目＼期別	第57期 中間期 (2019年9月30日現在)	第56期 (2019年3月31日現在)	増減
負債の部			
流動負債	**298,379**	**304,882**	**△6,502**
支払手形及び買掛金	80,385	75,448	
未払法人税等	27,195	57,671	
前受金	114,404	77,247	
賞与引当金	18,625	33,139	
製品保証引当金	13,064	14,097	
その他の引当金	1,034	5,111	
その他	43,670	42,166	
固定負債	**66,021**	**64,628**	**1,393**
その他の引当金	110	932	
退職給付に係る負債	61,439	60,600	
その他	4,472	3,094	
負債合計	**364,400**	**369,510**	**△5,109**
純資産の部			
株主資本	**784,154**	**869,977**	**△85,823**
資本金	54,961	54,961	
資本剰余金	78,011	78,011	
利益剰余金	769,946	748,827	
自己株式	△118,764	△11,821	
その他の包括利益累計額	**8,283**	**10,770**	**△2,487**
その他有価証券評価差額金	18,928	13,024	
繰延ヘッジ損益	14	△34	
為替換算調整勘定	△5,480	4,366	
退職給付に係る調整累計額	△5,178	△6,585	
新株予約権	**10,739**	**7,368**	**3,370**
純資産合計	**803,177**	**888,117**	**△84,940**
負債純資産合計	**1,167,578**	**1,257,627**	**△90,049**

連結損益計算書

（単位:百万円）

科目 ＼ 期別	第57期 中間期 （2019年4月1日から 2019年9月30日まで）	第56期 中間期 （2018年4月1日から 2018年9月30日まで）	増減
売上高	**508,442**	**691,034**	**△182,591**
売上原価	303,922	406,925	
売上総利益	**204,520**	**284,109**	**△79,589**
販売費及び一般管理費	102,066	108,691	
営業利益	**102,454**	**175,418**	**△72,964**
営業外収益	**4,680**	**5,938**	**△1,258**
為替差益	2,363	1,885	
その他	2,316	4,052	
営業外費用	**442**	**109**	**332**
関税追加徴収額	173	—	
自己株式取得費用	114	—	
閉鎖拠点維持管理費用	—	33	
その他	153	75	
経常利益	**106,692**	**181,247**	**△74,555**
特別利益	**2**	**2**	**0**
固定資産売却益	2	2	
特別損失	**65**	**146**	**△80**
固定資産除売却損	65	146	
税金等調整前当期純利益	**106,629**	**181,103**	**△74,473**
法人税等	27,906	45,808	
当期純利益	**78,722**	**135,294**	**△56,572**
親会社株主に帰属する当期純利益	**78,722**	**135,294**	**△56,572**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数　300,000,000株
発行済株式の総数　165,210,911株
株主数　33,739名

■所有者別株式分布状況

株価と出来高 (2016年10月～2019年9月)

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,853	19.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,425	9.76
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	10,259	6.49
株式会社東京放送ホールディングス	7,077	4.48
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	3,113	1.97
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,018	1.91
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,850	1.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,816	1.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,671	1.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	2,566	1.62

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 上記のほか当社所有の自己株式7,234,686株があります。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が所有する当社株式472,910株を含めておりません。
3. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。また、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
4. 以下の大量保有報告書(変更報告書を含む)が公衆の縦覧に供されておりますが、当社として2019年9月30日現在の実質保有状況の確認ができない部分については、上記表に含めておりません。

大量保有者	提出書類	提出日	保有株式数(千株)
野村證券株式会社　他2社	変更報告書	2018年11月22日	2018年11月15日現在　15,421
株式会社三菱UFJ銀行　他3社	変更報告書	2019年 4月15日	2019年 4月 8日現在　14,191
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社　他1社	変更報告書	2018年12月20日	2018年12月14日現在　13,524
キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー　他1社	変更報告書	2019年 9月24日	2019年 9月13日現在　12,026
ブラックロック・ジャパン株式会社　他6社	変更報告書	2016年 2月 4日	2016年 1月29日現在　10,252
アセットマネジメントOne株式会社	大量保有報告書	2018年 3月23日	2018年 3月15日現在　8,735

配当金の推移

(注) 2016年3月期から配当性向を見直し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目処としております。

会社の概況等

会社の概況（2019年9月30日現在）

商　　号	東京エレクトロン株式会社 Tokyo Electron Limited
設　　立	1963年11月11日
資 本 金	54,961,191,468円
本　　社	東京都港区赤坂五丁目3番1号
主要な事業所	
府中テクノロジーセンター	東京都府中市住吉町二丁目30番地の7
大阪支社	大阪府大阪市淀川区宮原三丁目4番30号
山梨事業所	
（藤井地区）	山梨県韮崎市藤井町北下条2381番地の1
（穂坂地区）	山梨県韮崎市穂坂町三ツ沢650番地
札幌事業所	北海道札幌市中央区南一条東一丁目5番
九州支社	熊本県合志市福原1番地1

取締役・監査役（2019年9月30日現在）

代表取締役会長	常石　哲男
代表取締役社長	河合　利樹
取締役	佐々木貞夫
取締役	布川　好一
取締役	長久保達也
取締役	春原　　清
取締役	池田　世崇
取締役	三田野好伸
取締役（社外）	チャールズ・ディトマース・レイク二世
取締役（社外）	佐々木道夫
取締役（社外）	江田麻季子
常勤監査役	原田　芳輝
常勤監査役	田原　計志
監査役（社外）	山本　高稔
監査役（社外）	酒井　竜児
監査役（社外）	和貝　享介

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	事業年度終了後3ヵ月以内
基準日	定時株主総会については、毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
配当支払株主確定日	期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
（郵便物送付先 電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 ☎ 0120-782-031（フリーダイヤル）
単元未満株式の 買取請求取扱	お取引証券会社等（特別口座で管理されている場合は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社）
公告方法	電子公告 （電子公告アドレス https: //www.tel.co.jp/ir/stocks/koukoku/） ただし、電子公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京証券取引所　市場第一部 （証券コード　8035）

配当金のお支払いについて

　第57期中間配当金は、同封の「配当金領収証」により、2019年11月25日から2020年1月10日までの間に、最寄りのゆうちょ銀行等でお受け取りください。金融機関預金口座振込・ゆうちょ銀行貯金口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「お振込先について」のとおり、また、証券会社等の口座振込をご指定の方には、同封の「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」のとおり振込手続きをいたしましたので、ご確認ください。

東京エレクトロンの基本理念・経営理念

基本理念

基本理念は、東京エレクトロンの存在意義、社会的使命を定義したものです。企業活動の拠り所となる最も基本的な考え方です。

最先端の技術と確かなサービスで、
夢のある社会の発展に貢献します

経営理念

経営理念は、基本理念を実現するために、東京エレクトロンが大切にする経営の規範を8つの項目で明示したものです。

■ 利益について

社会や産業の発展に貢献すべく、利益の追求を重視し企業価値の向上を目指します。

■ 成長について

技術革新に常に挑戦し、事業拡大と市場創出により継続的な成長を図ります。

■ 社員について

社員は価値創出の源泉であり、創造性と責任感と強いチームワークで情熱をもって業務に取り組みます。

■ 安全と健康と環境について

事業に関わるすべての人々の安全と健康、および地球環境への配慮を第一に考えて行動します。

■ 事業分野について

エレクトロニクスを中心とする最先端技術分野において、高品質な製品を提供し市場をリードします。

■ 品質とサービスについて

顧客の満足と信頼を得るために真のニーズを理解し、品質とサービスの向上に努めます。

■ 組織について

個々の能力を最大限に発揮し、企業価値を最大化する最適な組織を築きます。

■ 企業の社会的責任について

企業としての社会的責任を自覚し、社会から高く評価され社員が誇りを持てる企業であるよう心がけます。

TOKYO ELECTRON

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

当社は、見やすさ、読みやすさを考慮し、AXIS書体を採用しています。